

「広島市地球温暖化対策実行計画に掲げる施策の実施状況等(令和2年度)について」に対する環境審議会委員の意見と回答

該当箇所		意見	回答
重要業績評価指標の 進捗状況	家庭生活	<p>重要業績評価指標（KPI）の進捗状況における家庭生活について、令和2年度実績は平成27年度実績と比べ、少し高くなっているが、目標達成は厳しいように感じた。</p> <p>【大浜委員】</p>	<p>広島市地球温暖化対策実行計画に掲げる施策については、概ね計画どおり実施できており、家庭部門の温室効果ガス排出量は減少しています。</p> <p>しかし、重要業績評価指標（KPI）については、正確に市域の状況を把握できていない指標があったことや、目標を達成するために十分な施策が行えなかったことなどから、短期目標達成に結びつかなかったものと考えています。</p> <p>御意見をいただいた「家庭生活」の取組については、今後、実行計画の改定作業を進めるに当たって、KPIの見直し、施策の強化等を検討したいと考えています。</p> <p>【環境局温暖化対策課】</p>
		<p>重要業績評価指標（KPI）の進捗状況における家庭生活の「短期目標（令和2年度）」に対して「令和2年度実績」の数値が低いことが気になる。</p> <p>【田中副会長】</p>	
		<p>重要業績評価指標（KPI）の進捗状況における家庭生活について、施策が実施されているにもかかわらず各項目とも実績は目標に達成していない。</p> <p>施策を計画どおりの内容で実施できたか、また施策内容の変更を検討しているものがあれば記載していただきたい。</p> <p>【谷本委員】</p>	

該当箇所		意見	回答
重要業績評価指標の 進捗状況	家庭生活	<p>重要業績評価指標（KPI）の進捗状況における家庭生活について、それぞれの指標の令和2年実績が短期目標（令和2年度）に比べて著しく低い値となっている。</p> <p>特に、「新築の戸建住宅」や「新築の集合住宅」は、計画策定時からほとんど向上していない。</p> <p>調査の方法及び実態を正しく把握できている調査であったか説明をしてもらいたい。</p> <p style="text-align: right;">【中西委員】</p>	<p>「新築の戸建住宅」の実績値は、環境省等の実施する ZEH 補助における都道府県別の交付決定シェア資料を参照しています。</p> <p>このため、国の補助を受けていないものが含まれていない点や、市域外も含むデータとなっていること等から、正確に市域の状況を把握できている調査とは言えないと考えています。</p> <p>今後、実行計画の改定作業を進めるに当たって、KPI 及び KPI の調査方法等の見直しを検討したいと考えています。</p> <p>【参考1】 本市によるハウスメーカーに対する聞き取り調査結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年度 ZEH 化率（広島市内） 広島県ハウスメーカー協会所属 10 社計…61.6%</li> </ul> <p>【参考2】 資源エネルギー庁 ZEH ロードマップフォローアップ委員会資料（令和3年3月31日）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年度 ZEH 化率（全国） 大手ハウスメーカー…47.9%</li> </ul> <p style="text-align: right;">【環境局温暖化対策課】</p>
	令和2年度実績全般	<p>重要業績評価指標（KPI）の進捗状況に大きな遅れが見える。施策の94.2%の項目は実施中であることから、内容の充実が必要である。</p> <p style="text-align: right;">【西嶋会長】</p>	<p>御提案をいただいた重要業績評価指標（KPI）に関連する内容の充実については、今後、実行計画の改定作業を進めるに当たって、施策の強化等を検討したいと考えています。</p> <p style="text-align: right;">【環境局温暖化対策課】</p>

該当箇所		意見	回答
広島市域における温室効果ガス排出量	温室効果ガスの種類別排出比率	<p>報告2資料の4ページ目に記載されている、代替フロン等4ガスの増加傾向に関して、令和2年4月より改正フロン抑制法が施行されたことにより、増加傾向に歯止めがかかることを期待したいが、広島市としての「見通し」はどうか。</p> <p>また、フロン排出抑制法は、広島市の管轄ではないが、広島県の動向は把握すべきである。</p> <p style="text-align: right;">【内藤(望)委員】</p>	<p>現行計画において、2020年度時点では代替フロン等4ガスが2013年度比で増加し、2030年度には減少しているの見込んでいましたが、フロン回収率が低迷していることなどから、代替フロン等4ガスについては、大幅に増加しています。</p> <p>令和2年4月に、改正フロン排出抑制法が施行され、対策が強化されており、中長期的には減少に転じるものと考えています。</p> <p>御意見をいただいた広島県の動向については、今後、国の動向も含め、注視するとともに、本市としても周知啓発等に取り組んでいきたいと考えています。</p> <p style="text-align: right;">【環境局温暖化対策課】</p>
広島市役所における温室効果ガス排出量		<p>「市役所の取組」において、特に顕著な好結果をもたらした事例を詳しく説明してほしい。</p> <p style="text-align: right;">【森委員】</p>	<p>本市独自の環境マネジメントシステムの推進を行っており、全庁的な目標及び各所属における個別目標の設定、環境保全行動の実施、内部監査による評価、環境マネジメントシステム推進会議による総括、見直しというPDCAサイクル(Plan(計画)、Do(実行)、Check(点検)、Action(見直し))のプロセスを繰り返すことにより、取り組んでいます。</p> <p>特に温室効果ガス排出量の削減に繋がった市役所の取組としては、ESCO事業により、道路照明灯のLED化を実施したことが挙げられます。</p> <p style="text-align: right;">【環境局温暖化対策課】</p>

該当箇所	意見	回答
<p>施策の実施状況</p>	<p>これからの社会の形成者である若年層への取組は大切であると考えており、参考資料1の12～15について、例えば環境問題に関心のある先生方と専門家でワーキンググループを作り、協議、作成等を行うなど、より一層の取組強化を検討してもらいたい。</p> <p style="text-align: right;">【土井委員】</p>	<p>御提案のあった若年層への取組については、今後、実行計画の改定作業を進めるに当たって、素案を作成する際、整理したいと考えています。</p> <p style="text-align: right;">【環境局温暖化対策課】</p>